

## 水痘（みずぼうそう）

### ○どんな病気？

水痘は、水痘・帯状疱疹ウイルス（varicella zoster virus:VZV）の感染による皮膚感染症です。一般には「みずぼうそう」として知られています。全身どこにでも小さな水泡をもった発疹ができる病気です。

### ○感染経路：感染力は非常に強いです。

- ・飛沫感染（咳やくしゃみに含まれるウイルスを鼻やのどの粘膜、眼球粘膜に付着して体内に侵入）
- ・接触感染（水疱の排出物に接触することによる感染、タオルの共有や入浴時に接触など）
- ・空気感染（空气中に浮遊しているウイルスを吸入することで感染）

### ○潜伏期間は？

10–21日間（通常は2週間）

集団生活の場での流行の有無は大切な情報です。

### ○どんな症状？

発疹は、虫さされ様の紅斑（小さな赤い発赤）→丘疹（少し盛り上がった発疹）→水疱を形成（発疹部に水をもつようになる）→痂皮形成（かさぶたを作る）と変化します。かゆみを伴います。このような発疹が数日にわたって次々と出現するので、いろいろな段階の発疹が同時にみられるのが特徴です。（新旧混在）

また、一晩で全身にひろがるのも特徴の一つです。

発疹は全身性で顔、体、手足、頭皮、外陰部、肛門などあらゆる場所にできます。

発熱を伴うこともあります。

### ○合併症

- ・皮膚の二次感染

発疹部を搔いてしまったり、こすったりして、黄色ブドウ球菌などの細菌感染をおこしてとびひ（伝染性膿痂疹）になることがあります。

- ・急性小脳失調症

けいれん、意識障害、歩行障害などを認めることができます。

### ○治療

- ・飲み薬：抗ウイルス薬を発病後48時間以内に開始し、5日間内服することで症状を軽くすることができます。

- ・塗り薬：かゆみ止めとして、水疱や紅斑などの発疹部にフェノール亜鉛化リニメント（カチリ）を塗布します。綿棒などで発疹の上に塗ります。すでにかさぶたになった発疹には塗る必要はありません。

### ○登園、登校はいつから？

水痘は、すべての発疹が痂皮形成（かさぶた）するまでは感染力があるため、「すべての発疹が痂皮形成するまで」出席停止です。登園・登校許可書が必要となります。

### ○予防接種

定期接種で、標準的な接種期間は、生後12か月から36か月の間で

1回目は生後12か月から15か月

2回目は、1回目接種終了後から6か月の間隔をおく、となっています。

1歳になったら、すぐ受けましょう！



さくらキッズクリニック  
sakura kids clinic